

ワンヘルスについて

令和7年3月13日

東広島支部 平野 政敏

ワンヘルスとは？



人と動物の健康と環境の健全性は、生態系の中で相互に密接につながり、強く影響しあっている。

これらの健全な状態を一体的に守らなければならない、これが「ワンヘルス」の理念です。

地球の危機！

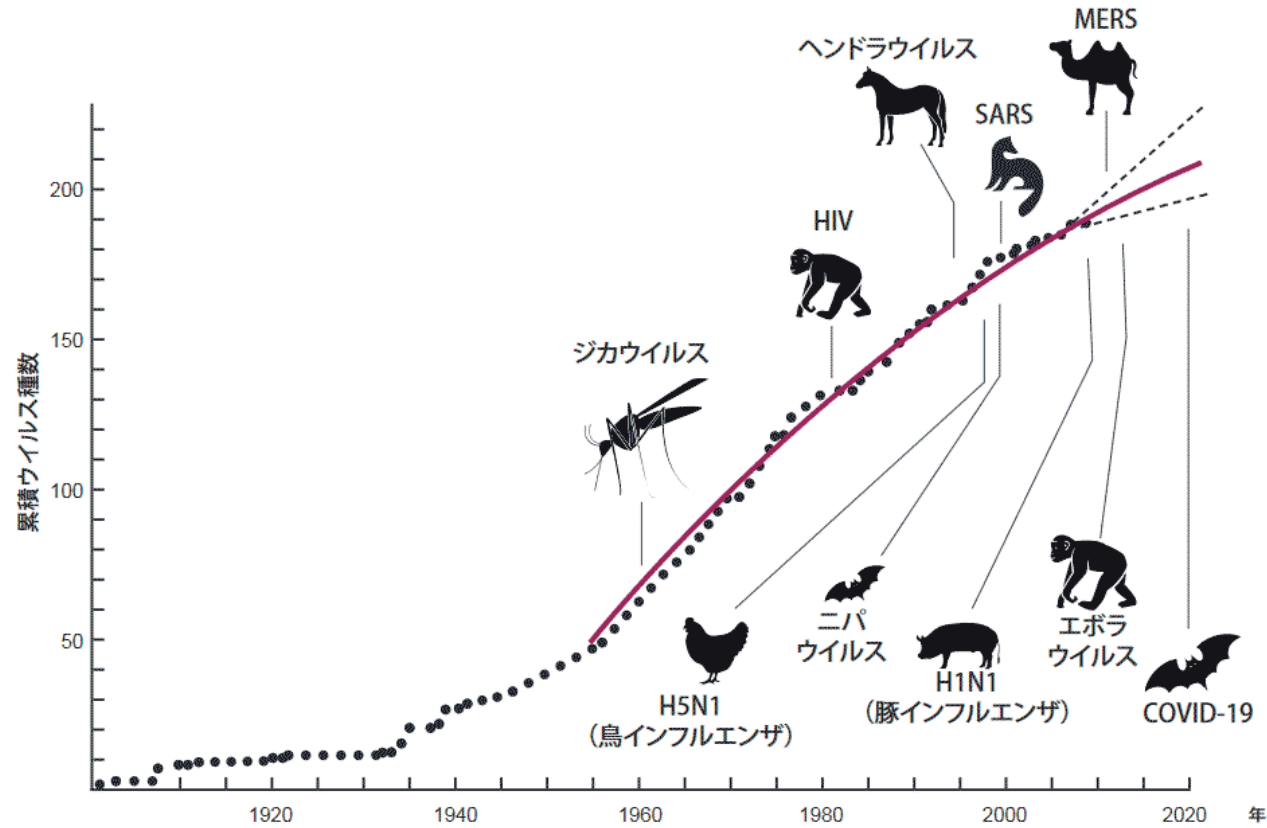
- （現状） 私たちの命や暮らしを支える地球の環境が今、危機に直面しています。
- （原因） そして、私たちの暮らしが様々な環境問題を引き起こしている現状を理解しましょう。
- （何ができるのか） 未来のために前向きに考えましょう。

一例を説明します。



人への感染が確認されているウイルスの累積発見数

人への感染が確認されているウイルスの累積発見数



次のパンデミックスを防ぐカギ！

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界の感染者数がついに1億に近づき、800万人を超える犠牲者を出している。
- 新型コロナウイルスに続く第二、第三のパンデミック（世界的感染）は、どうすれば防げるのか。
- そのキーワードが「ワンヘルス」と言われています。

今なぜ、ワンヘルスが必要か？

- プラネタリークライシス
地球規模での、環境危機を説明するために、国連システムにより、採用されたシステム。原因、予防、対策、我々は、何をすべきか？
- 環境破壊（汚染）、気候危機（気候変動）、生物多様性の喪失（生態学的な危機）3つの危機は、相互に関連し、環境リスクと世界的な経済損失を増大させる。
- COVID-19（動物由来感染症）のパンデミックも一因。

ワンヘルスの構成（個人の対策として）

- 6項目からなっている

1. 人と動物の共通感染症対策

手洗い、咳エチケット、口腔ケアによる感染症予防、ペットの衛生管理・予防接種、ダニ対策

2. 薬剤耐性菌対策

用法用量を守った薬の服用、薬を飲み切る、あげない、のこさない

3. 環境保護

自家用車の使用を控える、排気ガスの削減、節電・省エネに取り組む、ゴミのポイ捨て禁止

4. 人と動物の共生社会づくり

ペットの予防接種や健康診断、マイクロチップの活用、野生動物への餌付け禁止

5. 健康づくり

ハイキング等で自然との触れ合い、森林浴、動物園・水族館に出かける

6. 環境と人と動物のより良い関係づくり

地元産の食べ物を積極的に食べる、食品のロスの削減、食育

東広島支部の「ワンヘルス」啓発活動について

- FM東広島
- ホームページ
- 「ワンヘルス」のチラシ
- 田んぼの看板
- 遊歩道の看板

「FM東広島」の放送内容（音源）

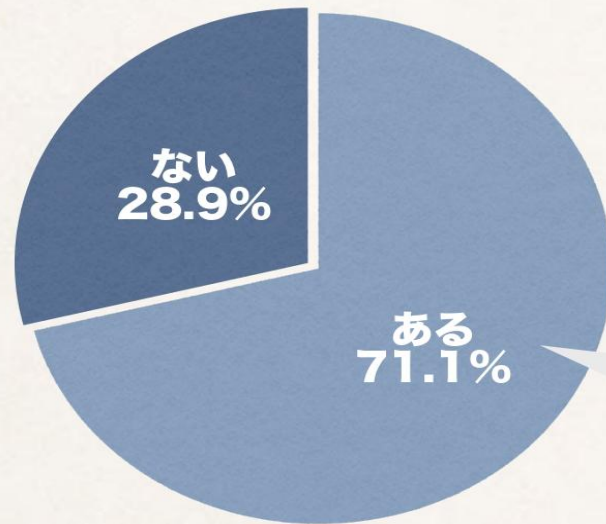
- 人の健康、動物の健康、そして環境をひとつのものとして守っていかうという考えを「ワンヘルス」といいます。動物にとって暮らしやすい環境を守ることは、人にとっても健康で安全に暮らす環境を作ることにつながります。東広島獣医師会からのお知らせでした。
- 私たちの生活は便利で快適になった一方、環境破壊などを起こしています。人と動物の健康、環境保全、これを一体的に守る「ワンヘルス」の取り組みが、これからの鍵となります。みんな、安全に暮らせる環境づくりをしていきましょう。東広島獣医師会からのお知らせでした。

FM東広島CM展開表

時間	月	火	水	木	金	土	日
7	*						
8							
9		*					
10							
11			*				
12						*	
13							
14							
15							
16				*			
17							*
18							
19							
20					*		

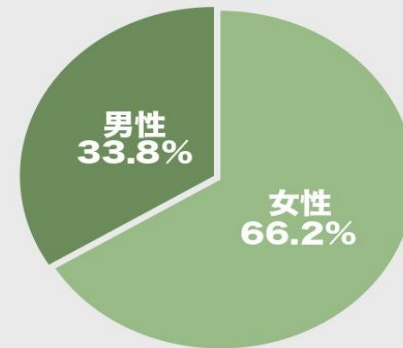
【参考】聴取者データ

FM東広島を聞いたことがありますか？

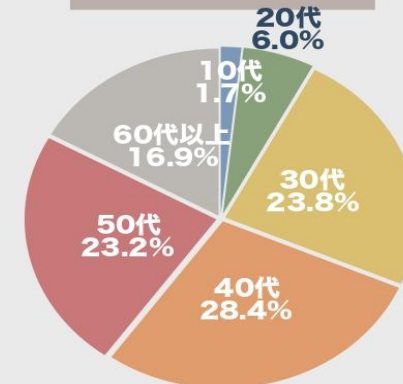


※調査はWEBサイト「東広島デジタル」でアンケートを実施。読者プレゼントの応募者が対象。有効回答数は349件。調査（募集）は2022年10月19日実施。

男女比率

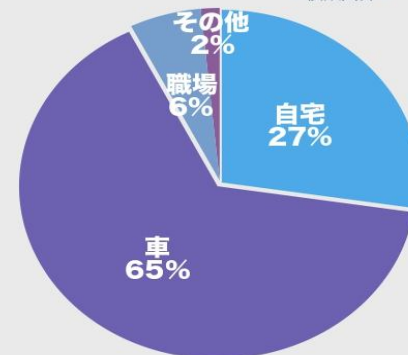


年代比率



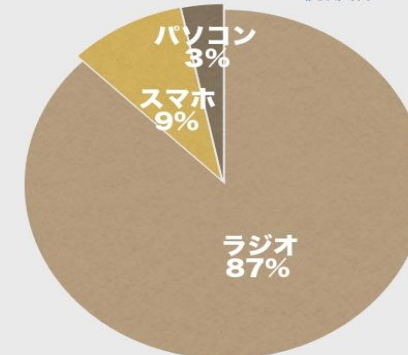
聴取場所

※複数回答可



聴取方法

※複数回答可



ホームページによる啓発

広島県獣医師会東広島支部



ワンヘルス

組織

病院一覧

事業報告

動物由来感染症

コラム

代表挨拶(会長 千田 広文)

広島県獣医師会東広島支部は、東広島地域における、獣医師による組織の(公益)社団法人です。

社会的な責務として、小動物部門は、ペットの診療や狂犬病予防注射・感染症対策等を主な業務としています。

産業動物部門は、家畜の診療や防疫等、鳥インフルエンザや豚熱等 様々な感染症の予防対策を行っております。

次に、公衆衛生部門は、狂犬病予防、動物の愛護及び管理に関する事から食の安全・安心を担い、市民の方々の健康・福祉・安全に務めております。

近年は、広島県医師会と技術的な連携協定を結び、幅広い感染症対策を実施し、コロナに続く、第二・第三のパンデミックスを防ぐ、努力を行っております。

ワンヘルスとは？



人と動物の健康と環境の健全性は、生態系の中で相互に密接につながり、強く影響しあっている。

これらの健全な状態を一体的に守らなければならない、これが「ワンヘルス」の理念です。

広島県獣医師会東広島支部からのお願い

ワンヘルスには、「6つの基本方針」があります。これらに基づいたさまざまな取り組みを行うことで、理念の推進・実現へとつながります。私たち一人一人が、人と動物と自然環境の共生社会づくりを、地域で行動していくことが、求められています。

また、コロナに続く、第2・第3の感染症を防ぐためにも、ご協力をお願いします。

1. 人獣共通感染症対策

・手洗い、咳エチケット、口腔ケアによる感染症予防、ペットの衛生管理、予防接種、草やぶでの長袖の着用によるダニ対策。

2. 薬剤耐性菌対策

・用法用量を守った薬の服用、薬を飲み切る、あげない、残さない。

3. 環境保護

・自家用車の使用を控え、排気ガスを削減、節電・省エネに取り組む、ゴミのポイ捨てをしない。

4. 人と動物の共生社会づくり

・ペットの予防接種や健康診断、マイクロチップを活用した迷子防止、野生動物への餌付けをしない。

5. 健康づくり

・ハイキングなどで自然と触れ合う、森林浴でリフレッシュする、動物園や水族館に出かける。

6. 環境と人と動物のより良い関係づくり

・東広島産の食物を積極的に食べる、食品ロスの削減（買いすぎない、作りすぎない、注文しすぎない、食べきる）に努める。

* 詳しくは、[広島県獣医師会東広島支部のホームページを参照](#)

ホームページ URL <http://www.kamon.ne.jp/~veterinary/>

広島県獣医師会東広島支部作成 問い合わせ先：082-437-1373

「ワンヘルス」チラシによる啓発

- 設置場所
- 東広島市役所（2階ロビー）
- 東広島市生活環境部
- 教育委員会指導課
- 動物病院
- 37か所の地域センター

ワンヘルスのたんぼ（看板）



ワンヘルスの森



啓発の評価

設置場所	評価	備考
FM東広島	○	2年4か月間毎日実施
ホームページ	○	今後期待できる
「ワンヘルス」のチラシ	○	今後さらに期待できる
たんぼの啓発看板	×	期待できない
「ワンヘルス」の森	×	期待できない

考察

- 現時点では、**啓発効果は十分**とは言えない。
- 引き続き啓発していく考えです。
- 令和10年度に、福岡に「ワンヘルス センター」が、国の交付金「55億円」で完成すれば、指導を受けながら、できるところから実践していく考えです。